

第3次伊勢市総合計画

実施計画

(令和8年度)

- 取組方針 -

市民とともに築く、安心と希望のまちづくり

～ 未来へつなぐ伊勢の力 ～

重点施策

だれひとり取り残さない、**わくわく感**  のある伊勢のまちづくりに全庁を挙げて取り組みます

次世代の
育成・支援

御遷宮を契機とした
観光・産業・
文化力の向上

安全・安心な
暮らし

政
策
分
野

自治・人権・文化

教育

環境

医療・健康・福祉

防災・防犯・消防

産業・経済

都市基盤

市役所運営

1 / 子どもを産み・育てやすい環境整備

小学校における
給食費無償化

こども誰でも通園の開始



小学校において、給食費の無償化を行う。また、保育所や幼稚園、中学校においては、引き続き物価高騰対策として給食等食材費の負担軽減を行う。

(教育総務課、保育課 415,701千円)

こども誰でも通園制度を公立施設2園において実施するとともに、民間施設における実施を支援する。

(保育課 13,324千円)



こども誰でも
通園制度

妊産婦への支援

子どもの医療費を
全額助成

妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を図るため、訪問指導や産後ケア事業等を実施する。また、新たに母子手帳アプリを導入し、保護者の利便性向上を図る。

(健康課 11,282千円)

高校卒業相当までの子どもを対象者として、入院・通院にかかる医療費の全額を助成する。

(医療保険課 478,271千円)

2 / 教育環境の充実

安全・安心な教育環境の
整備

■体育館へ空調機を整備

夏季の暑熱環境による熱中症のリスクを軽減するため、災害時には避難所としての役割も担う市内全小中学校の体育館に空調機を整備する。

■中学校体育館の長寿命化

老朽化した中学校の体育館について、長寿命化を図るための改修工事を行う。

・倉田山中、五十鈴中、厚生中

(学校施設整備課 1,817,500千円)

※うち、R8年3月補正 340,237千円



安全な通学路の整備

児童生徒の通学路の安全を確保するため、対策必要箇所への路面表示や防護柵等の設置・整備を行う。また、神田一之木線の整備を推進する。

(維持課、基盤整備課 18,250千円)

「ねすとルーム」の設置

不登校傾向にある児童生徒の学習や活動を支援するため、小学校7校、中学校全校において、別室「ねすとルーム」を運用する。

(教育研究所 6,942千円)

3 / 豊かな成長の場づくり

子ども読書支援 プロジェクト



学校司書の配置日数や基礎資料の充実などにより学校図書館の機能向上を図る。また、新たに移動図書館車を活用したサービスを提供する。

(教育メディア課 158,091千円)



すべての子どもたちが 一緒に遊べる公園



県営大仏山公園において、三重県及び伊勢市を含む1市3町が連携し、インクルーシブ遊具や大型複合遊具の導入、芝そりグレンデやアーバンスポーツが楽しめる多目的広場の整備等を進める。

(監理課 20,280千円)



スポーツ環境の向上



- スポーツ施設の再整備(人工芝の張替)
 - ・倉田山公園野球場(内野)
 - ・市営庭球場(8~12コート)
- アーバンスポーツ(スケートボード等)の推進

(スポーツ課 245,397千円)

地元のしごと体験



子どもの地元愛を育み、就業への理解を深めるため、地元企業のしごと体験ができる機会を提供する。

(商工労政課 4,000千円)

4 / 地域を支える担い手の確保・育成

地域おこし協力隊の 活動・定住支援



地域の活力を維持・向上させるため、令和7年度からの継続5名に加え、新たに観光分野において追加募集する。また、隊員の任期後の定着を図るため、市内における起業等に要する経費について補助する。

(企画調整課 32,545千円)



民生委員協力員制度の 実施

民生委員の負担軽減や身近な地域の見守り活動充実のため、民生委員協力員制度を実施する。

(福祉総務課 1,440千円)

いせミライブプロジェクト



高校生主体のボランティアチームを結成し、高校生自らが企画した活動を実践する。

(市民交流課 470千円)



集落支援員の配置

地域の課題を把握し、地域コミュニティの活性化と持続可能な運営を目指すため、まちづくり協議会に集落支援員を配置する。

(市民交流課 12,000千円)

1 / お木曳行事の実施支援・情報発信

お木曳行事の
実施支援・次世代継承

■実施支援

市の無形民俗文化財であるお木曳行事が安全かつ盛大に実施されるよう、支援を行う。

■次世代継承

広報紙・SNS等を活用した機運醸成を行う。また、お木曳行事の継承と次代を担う人材育成に向けて、**団を超えた若い世代の交流を推進**するとともに、**次世代へ繋げるための記録・保存**を行う。

(観光振興課 179,400千円)



国内誘客の推進



お木曳行事に併せた**著名人と連携したプロモーション**や、宿泊促進等を目的とした**誘客プロモーション「いせしませんぐ旅」**等を行う。

(観光誘客課 25,500千円)

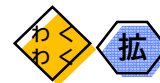
インバウンド誘客の
推進

お木曳行事を契機として、伊勢の歴史・文化を中心とする魅力を国外に向けて発信するとともに、**国外現地でプロモーション**を行う。

(観光誘客課 17,623千円)

2 / 観光客の受入れ環境整備

快適な交通環境の整備



地域交通の担い手不足解消・移動手段の確保に向けて、**ライドシェアの実証事業**を実施する。また、**自動運転バス**について、**外宮-内宮の観光路線で自動運転レベル4の取得に向けた走行検証**を行うほか、**内宮周辺における駐車場再編**に取り組む。

(交通政策課 192,511千円)

※観光交通対策特別会計において、
債務負担行為設定済(R9年度34,000千円)



ライドシェア実証事業



自動運転バス実証実験

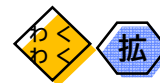
ラグジュアリーホテルの
誘致

市内宿泊者の増加を目指し、**五十鈴川中村浄化センターの廃止に伴う跡地**において、立地の特性を活かし、**ラグジュアリーなホテルの誘致**を行う。

(下水道課、商工労政課 163千円)

※下水道事業会計

観光人材の育成



観光関連事業者のおもてなし力のさらなる向上を図るため、研修会を開催するほか、市内のおすすめスポットを案内する**「まちあるきガイド」の育成を新たに開始**する。

(観光振興課 507千円)

3 / 「伊勢のまち」の魅力創出

歴史博物館オープン！



4月25日にオープンする「伊勢市歴史博物館」において、常設展示に加え、特別展や企画展、体験講座等を通して地域の歴史文化の魅力を発信する。

(文化政策課 8,226千円)



展示イメージ

ウォーカブルなまちづくり



居心地がよく歩きたくなる“まちなか”を形成するため、滞在環境向上のための整備を行う。

- ・月ノ宮通り パークレットの設置 (伊勢工業高校生デザイン)
- ・高柳公園の再整備

(都市計画課 68,243千円)

※うち、R8年3月補正 10,000千円



高校生によるデザイン

夜間イベントの創出



観光客の滞在時間延伸・宿泊につなげるため、中心市街地における夜間イベントの開催を促進する。

(観光振興課 1,000千円)

国重要文化財 旧賓日館の保存活用



国重要文化財の旧賓日館を文化財として保存するとともに、観光誘客施設として活用を図るため、保存整備工事(～令和13年度)に着手する。

(文化政策課 49,384千円)

4 / 産業の発展

蓮台寺柿の次世代継承

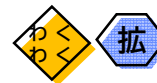


次世代に蓮台寺柿を残すため、「蓮台寺柿産地協議会」において、販売単価や栽培農家の収入額の向上に向けて、高価格での販路開拓や情報発信に取り組む。

(農林水産課 6,106千円)



地域経済循環の仕組みづくり



地域の人材・資源・資金を活用し、公共的な課題の解決につながる新たなビジネスを市内で立ち上げようとする民間事業者に対して、初期投資費用の一部を補助する。

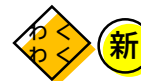
(商工労政課 50,037千円)

(※)「ローカル10,000プロジェクト (地域経済循環創造事業交付金)」を活用



令和7年度補助事業 マルシェ専用施設

新しいビジネス創出の基盤づくり



新たなビジネスの創出につながる機運醸成等を目的に、市内外のスタートアップ等と市内中小企業者・大学生等の交流を図る。また、AIカメラ活用による通行量データの取得や、二地域居住等に取り組む。

(商工労政課 49,504千円)



1 / 防災力の向上

防災井戸の整備



大規模地震時の生活用水を確保するため、避難所(避難生活施設)に**防災井戸の新規整備工事**を行う。

- ・試掘箇所:15か所
(危機管理課 9,235千円)



防災井戸のイメージ

避難所環境の充実



令和6年能登半島地震の教訓を踏まえ、**応急給水用タンクや自動ラップ式トイレ**、避難生活時のプライバシー確保のための**屋根付パーティションの備蓄を強化**する。

(危機管理課 14,287千円)

※うち、R8年3月補正 13,550千円



屋根付パーティション

木造住宅の耐震化を促進

対象住宅への戸別訪問による働きかけや、**耐震補強工事・耐震シェルター設置等の費用助成**を行い、耐震化を促進する。

(住宅政策課 145,188千円)

農業用排水機場の遠隔操作化

豪雨時に敷地やその周辺が冠水した農業用排水機場について、**遠隔地からの操作が可能となる運転支援システムの導入**を進める。

- ・楠部排水機場ほか4機場

(農林水産課 2,560千円)

2 / だれひとり取り残さない社会づくり

物価高騰対策



物価高の影響が続くなか、**市民生活を支援**するため、**支援金の給付**を行うほか、**水道基本料金の無料化**を行う。

- ・生活支援給付金 市民ひとり 7,000円
- ・水道基本料金の無料化 6か月分(R8.4~R8.9請求分)

(福祉総務課、財政課、料金課 1,207,454千円)

働きづらさを抱えた人への支援

相談内容に応じた適切な助言を行うとともに、その**個性や意欲に応じた社会参加や就労支援等**を多分野の関係機関との協働で実施する。

(福祉総合支援センター 20,802千円)

こどもの多様な悩みへの支援

いじめ報告・相談アプリ等を活用し、**地域の関係機関と連携した包括的な相談支援体制を構築**する。

(福祉総合支援センター 24,822千円)

子どもの学びをサポート

家庭の経済状況による教育格差の縮小を図るため、**子どもの居場所づくりを兼ねた学習支援、無料の学習塾の開催、学習塾利用料や大学受験料等の費用助成**を行う。

(福祉総合支援センター、子育て応援課 30,220千円)

高齢者・障がい者の外出支援

高齢者及び障がいのある人にバスとタクシーのどちらでも利用できる「**おでかけ乗車券**」を交付する。

(高齢・障がい福祉課 26,709千円)



3 / 暮らしの基盤整備

勢田川流域の浸水対策



勢田川流域等浸水対策実行計画に基づき、排水路を整備する。

・**桧尻2号雨水幹線排水路築造工事**
(2年目/3年)

(下水道課 1,030,000千円)
※下水道事業会計

水道管路の耐震化



発災時の配水機能を確保するため、医療機関など重要施設への配水ルートとなる水道管路の耐震化を行う。

(上水道課 350,100千円)
※うち、R8年3月補正 190,400千円
※水道事業会計



電線類地中化の推進

電線類の地中化を進めることで、良好な景観の形成、災害の防止、安全・円滑な交通の確保等を図る。

- ・外宮常磐線(伊勢南島線)
- ・本町宮川堤線(伊勢南島線)
- ・御幸道路(伊勢南島線)
- ・宇治山田駅前(岡本吹上線)

(監理課、基盤整備課 354,180千円)

宮川橋の架け替え

老朽化が著しい現宮川橋の代替機能を持つ**高向小俣線(宮川橋)の整備**を行う。

- ・上部工(※)工事の開始
※橋の人や車が通る部分

(基盤整備課 2,047,770千円)



Esri, NASA, NGA, USGS | GSI, Esri, TomTom, Garmin, GeoTechnologies, Inc, METI/NASA, USGS Powered by Esri

■自治・人権・文化

地域活動を支援

まちづくり協議会の活動の活性化に向け、財政的支援を実施するとともに、**集落支援員の配置や、地域団体や企業との連携促進に向けた取組を推進**する。

(市民交流課 203,295千円)



市民活動拠点の リニューアルオープン



改修工事により利便性が向上した**いせ市民活動センター**を拠点に、**市民活動団体の活動支援**を行う。

(市民交流課 22,665千円)



再掲

歴史博物館オープン!



4月25日にオープンする「伊勢市歴史博物館」において、**常設展示に加え、特別展や企画展、体験講座等を通して地域の歴史文化の魅力を発信**する。

(文化政策課 8,226千円)

いせミライプロジェクト



高校生主体のボランティアチームを結成し、**高校生自らが企画した活動を実践**する。

(市民交流課 470千円)

■教育

情報モラル 安心プロジェクト



子どもたちがデジタル社会で安全かつ主体的に活躍できるよう、警察・携帯電話キャリア等の協力も得ながら、**乳幼児期からのアプローチ**を図るとともに、**児童生徒・保護者を対象とした啓発及び予防教育**を行う。

(教育メディア課、デジタル政策課、危機管理課、健康福祉部
特定の予算なし)



学力の向上



児童生徒の学力向上に向けて、学力検査・調査により現状を把握し、授業改善を行う。また、小学5・6年生を対象とした**読解力向上プロジェクト**を取組校を6校増やして全11校で実施する。

(学校教育課 3,270千円)



再掲

学習支援員等の配置

児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じ、適切な指導及び必要な支援を行うため、教員の補助を行う**学習支援員**及び医療的ケアを必要とする児童生徒の支援を行う**看護師を配置**する。

(学校教育課 214,956千円)

体育館へ空調機を整備



夏季の暑熱環境による**熱中症のリスクを軽減**するため、災害時には避難所としての役割も担う**市内小中学校の体育館に空調機を整備**する。

(学校施設整備課 765,000千円)

■環境

ごみ分別アプリの 機能強化



ごみ分別アプリ「さんあ〜る」に
チャットボット機能や画像認識機能
を追加し、利便性向上を図る。

(ごみ減量課 132千円)



脱炭素経営の促進

脱炭素経営セミナーの開催や、中小
企業者の脱炭素化支援として温室効
果ガス排出量算定や省エネルギー
診断等に対する補助を実施する。

(環境課 3,106千円)

雑誌・雑がみの 分別意識の強化



自治会・PTA等が資源物の集団回収
を行う場合に、回収量に応じた奨励金
を交付する。燃えるごみへの混入割
合が高い雑誌・雑がみの分別意識の
強化に向けて、奨励金単価を3円か
ら6円に引き上げる。

(ごみ減量課 4,000千円)



新ごみ処理施設における 発電電力の活用検討

令和9年に稼働開始を予定している、
伊勢広域環境組合の新ごみ処理施設
において発電されるCO₂フリー電
力について、市内公共施設での活用
検討を進める。

(環境課 59千円)

■医療・健康・福祉

5歳児健康診査の実施



発達に課題のある子どもの早期発見・
早期支援に向けて、全ての年中児の
保護者・保育者に問診票を配布し、問
診結果に基づき、新たに「5歳児健康
診査」を実施する。

(こども発達支援室 804千円)

生活習慣病予防対策



生活習慣病の発症予防・重症化予防
を目的に、市内スーパー等と連携し
た減塩対策の取組を強化する。

(健康課 871千円)



生活困窮者への アウトリーチ型支援



生活困窮者が抱える課題が複雑化・
複合化していることから、新たに
「アウトリーチ支援員」及び「住まい
相談支援員」を配置し、必要な支援を
実施することで、生活困窮者の自立の
促進を図る。

(福祉総合支援センター 24,291千円)

福祉分野の人材確保・育成

需要が高まる福祉分野における人材
の確保・育成を進める。

- ・民生委員協力員制度による民生
委員の負担軽減
- ・保育士確保に向けたイベント等の
実施
- ・計画相談支援専門員の人材確保・
定着に向けた支援
- ・在宅の医療的ケア児者を支援する
人材の育成支援

(福祉総務課、保育課、
高齢・障がい福祉課 77,956千円)

■防災・防犯・消防

三重南消防指令センターの整備 新

松阪市以南の7消防本部での消防通信指令業務の共同運用開始(令和10年4月予定)に向けて、指令施設の整備工事を行う。

- ・伊勢市消防本部4階に設置
(消防総務課 339,263千円)



三重南消防指令センター

再掲

防災井戸の整備 拡

大規模地震時の生活用水を確保するため、避難所(避難生活施設)に防災井戸の新規整備工事を行う。

- ・試掘箇所:15か所

(危機管理課 9,235千円)

避難所環境の充実 拡

令和6年能登半島地震の教訓を踏まえ、応急給用水用タンクや自動ラップ式トイレ、避難生活時のプライバシー確保のための屋根付パーティションの備蓄を強化する。

(危機管理課 14,287千円)

※うち、R8年3月補正 13,550千円

水道管路の耐震化 拡

発災時の配水機能を確保するため、医療機関など重要施設への配水ルートとなる水道管路の耐震化を行う。

(上水道課 350,100千円)

※うち、R8年3月補正 190,400千円
※水道事業会計

勢田川流域の浸水対策 拡

勢田川流域等浸水対策実行計画に基づき、排水路を整備する。

- ・桧尻2号雨水幹線排水路築造工事
(2年目/3年)

(下水道課 1,030,000千円)

※下水道事業会計

■産業・経済

中小企業のDX推進 新

地域経済の要である中小企業について、企業ごとの課題に即したDXを推進するため、伊勢商工会議所と伊勢小俣町商工会が行うDXに関する実態調査を支援する。

(商工労政課 3,000千円)

奨学金返還の支援

市内で就業かつ居住を開始する若者、及び従業員の奨学金返還を支援する企業に対し、その返還や支援に要する費用の一部を助成する。

(商工労政課 720千円)

別途債務負担行為設定 18,000千円)

獣害対策の推進

P51

地域主体で取り組む活動を支援するため、サル用大型檻のICT捕獲システムの更新や、専門家による対策講習会を実施する。

(農林水産課 17,295千円)



再掲

蓮台寺柿の次世代継承 拡

次世代に蓮台寺柿を残すため、「蓮台寺柿産地協議会」において、販売単価や栽培農家の収入額の向上に向けて、高価格での販路開拓や情報発信に取り組む。

(農林水産課 6,106千円)

新しいビジネス創出の基盤づくり 新

新たなビジネスの創出につながる機運醸成等を目的に、市内外のスタートアップ等と市内中小企業者・大学生等の交流を図る。また、AIカメラ活用による通行量データの取得や、二地域居住等に取り組む。

(商工労政課 49,504千円)

■都市基盤

河川敷の公園整備



宮川左岸の河川敷を利用し、憩いやコミュニティ活動などの場として、また、子どもたちの学びの場となるような公園を整備する。

(基盤整備課 74,865千円)

AI診断結果を活用した 水道管路の漏水調査



令和7年度に実施したAIを活用した管路劣化診断を踏まえ、漏水調査を実施する。

(上水道課 5,500千円)
※水道事業会計



市内幹線道路の渋滞緩和対策

安全で円滑な道路空間の確保を図るため、道路拡幅やバイパス道路の整備を進める。

- ・県道伊勢磯部線(御木本道路)の整備促進
 - ・一之木5丁目16号線の整備
 - ・高向小俣線(宮川橋)の整備(再掲)
- (監理課、基盤整備課
2,060,564千円)

再掲

ウォーカブルなまちづくり



居心地がよく歩きたくなる“まちなか”を形成するため、滞在環境向上のための整備を行う。

- ・月ノ宮通り パークレットの設置
(伊勢工業高校生デザイン)
- ・高柳公園の再整備



(都市計画課 68,243千円) ※うち、R8年3月補正 10,000千円

■市役所運営

職員のスキル向上



職員の専門性・スキルの向上を図るため、資格取得の支援や、新たにDX推進をけん引する能力や優れたデジタルスキルを有する職員を育成するための研修を実施する。

(職員課、デジタル政策課
2,378千円)



資格取得報告会の様子

外部人材の活用



民間等の専門人材を活用し、その知見等を活かした効果的な事業実施を図るため、令和7年度から継続して取り組む分野に加え、新たにDX人材の育成や観光等の情報を戦略的に発信するため、外部人材を活用する。

(職員課 36,900千円)



再掲

AIカメラの活用



市が抱える課題の発掘、各分野における事業検証のため、市内の商店街や主要箇所において、AIカメラを活用し、通行量データを取得・分析する。

(商工労政課 19,827千円)

